

(15) 紹介患者数 (院内紹介は含まない)

- 1 平成7年
- 2 平成8年

II-(15)-1 名
 II-(15)-2 名

●次の疾患についてのみ過去3年間での入院症例数をご記入ください。

- (16) 悪性腫瘍
- (17) 顎顔面骨骨折 (歯槽骨骨折は除く)
- (18) 顎変形症
- (19) 抜歯

II-(16) 件
 II-(17) 件
 II-(18) 件
 II-(19) 件

●貴科の採算についてうかがいます (入院・外来あわせて)。

- (20) 貴科は病院側が示す損益分岐点を上回っていますか。
 - 1 上回っている。
 - 2 下回っている。
 - 3 知らない。

II-(20)

III 歯科の救急体制についておたずねします。

(1) 病院歯科が受け入れるべき救急処置は？ (複数回答可)

- 1 夜間、休日の一般歯科処置 (歯髄炎など)
- 2 歯科診療所での偶発症
- 3 誤飲・誤嚥
- 4 抜歯後出血
- 5 顎炎・蜂窩織炎などの炎症
- 6 外傷
- 7 その他 ()

III-(1)

(2) 救急患者を受け入れていますか。

- a はい
- b いいえ

III-(2)

aの場合、以下の設問にお答えください。

(3) 貴科の救急体制は？

- 1 ボケベル等での自宅待機
- 2 当直制
- 3 輪番制 (他施設と)
- 4 その他 ()

III-(3)

(4) 受け入れは？

- 1 24時間体制
- 2 平日夜間のみ
- 3 休日のみ
- 4 その他 ()

III-(4)

(5) 最近1年間に歯科を受診した救急患者数は？

III-(5) 名

(6) その内容別人数をお答えください。

- 1 外傷
- 2 歯痛 (歯牙疾患)
- 3 炎症
- 4 抜歯後出血
- 5 誤飲・誤嚥
- 6 その他 ()

III-(6)-1 名
 III-(6)-2 名
 III-(6)-3 名
 III-(6)-4 名
 III-(6)-5 名
 III-(6)-6 名

(7) 最近1年間に救急車で搬送された歯科が主科の患者数は？

III-(7) 名

(8) 最近1年間に救急で歯科に入院した患者数は？

III-(8) 名

(9) Ⅲ-(2)の設問で、bの場合、その理由は次のどれですか。

- 1 スタッフが足りないから
- 2 病院が救急をおこなっていないから
- 3 必要性を感じないから
- 4 救急はやりたくないから
- 5 その他 ()

Ⅲ-(9)

Ⅳ 研修体制についておたずねします。

●歯科の卒後研修について

(1) 歯科の卒後研修指定病院ですか。

- a はい
- b いいえ

Ⅳ-(1)

aの場合、以下の設問にお答えください。

(2) その方式は次のどれですか。

- 1 単独方式
- 2 複合方式の主たる施設
- 3 複合方式の従たる施設

Ⅳ-(2)

(3) 平成10年度に受け入れた研修歯科医数は何名ですか。

Ⅳ-(3) 名

(4) 研修歯科医の待遇は？

- 1 研修医と同じである。
- 2 研修医より給与が少ない。
- 3 無給である。
- 4 その他 ()

Ⅳ-(4)

bの場合、以下の設問にお答えください。

(5) その理由は次のどれですか。

- 1 指定条件を満たしていない。
- 2 医科の研修指定病院でないから
- 3 採算がとれないから
- 4 その他

Ⅳ-(5)

(6) 将来受け入れる予定はありますか。

- 1 平成10年度から受け入れる。
- 2 あと2～3年の内に受け入れる
- 3 受け入れる予定はない。

Ⅳ-(6)

(7) 前項で1または2の場合、方式はどれですか。

- 1 単独方式
- 2 複合方式の主たる施設
- 3 複合方式の従たる施設

Ⅳ-(7)

●その他の研修について

(8) 院外の歯科医師の生涯研修を行っていますか。

- 1 勉強会、症例検討会などを行っている。
- 2 見学を受け入れている。
- 3 診療行為も研修に含んでいる。
- 4 行っていない。

Ⅳ-(8)

(9) 歯科で研修医（歯科医師ではなく）を受け入れていますか。

- 1 受け入れている。
- 2 受け入っていない。

Ⅳ-(9)

(10) 衛生士学校、看護学校などで講義を担当していますか。

- 1 担当している。
- 2 担当していない。

Ⅳ-(10)

- (11) 衛生士学校、看護学校などの研修を受け入れていますか。 IV-(11)
- 1 受け入れている。
 - 2 受け入れていない。

V 病診連携についておたずねします。

- (1) 「病院歯科（病）と歯科診療所（診）の連携を推進する際、病・診の機能分担が必要である」ということについてどう思いますか。 V-(1)
- 1 「連携」の前提としてぜひ必要である。
 - 2 必要と思うが実際には難しい。
 - 3 今のままでよい。
 - 4 必要とは思わない。

- (2) 貴病院において歯科の病診連携を行っていますか。 V-(2)
- a 地区歯科医師会と取り決めをして行っている。
 - b 取り決めはないが、実質的には行っている。
 - c 行っていない。

aの場合、以下の設問にお答えください。

- (3) いつからはじめていますか。 V-(3) 年 月

- (4) 運営協議会（または準ずるもの）はありますか。 V-(4)
- 1 ある
 - 2 ない

- (5) 病診連携専用の紹介状はありますか。 V-(5)
- 1 歯科専用のものを紹介歯科医に配布している
 - 2 病院の紹介状を紹介歯科医に配布している。
 - 3 特にない

bまたはcの場合、以下の設問にお答えください。

- (6) 病診連携を行っていない理由は次のどれですか。 V-(6)
- 1 地区で病診連携についての取り決めがない。
 - 2 必要性を感じない。
 - 3 わからない。
 - 4 その他 ()

- (7) 病診連携をはじめる予定はありますか。 V-(6)
- 1 平成11年度からはじめる予定である。
 - 2 あと2～3年の内に行う予定である。
 - 3 予定はない。

VI 歯科の登録医制についておたずねします。

V-(2) でaと答えた場合のみお答えください。

- (1) 貴院の歯科の病診連携は登録制をとっていますか。 VI-(1)
- a はい
 - b いいえ

aの場合、つぎの設問にお答えください。

- (2) 登録した歯科医師の貴院での名称は何ですか。 VI-(2)
- 1 登録歯科医
 - 2 連携歯科医
 - 3 その他 ()

- (3) 登録歯科医数は何名ですか VI-(3) 名

(4) 連携している地区・会員数・そのうちの登録歯科医数は？

(記入欄が足りない場合は、別添してください。登録歯科医が1名の地区でも記入のこと)

	地区歯科医師会名	会員数	登録歯科医数
VI-(3)-1		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
VI-(3)-2		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
VI-(3)-3		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
VI-(3)-4		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
VI-(3)-5		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

Ⅶ 紹介患者の動向について

平成9年（または年度）の歯科への紹介患者についておたずねします。

- (1) 紹介患者数は？ VII-(1) 名
- (2) 紹介率はどのくらいですか。 VII-(2) %
- (3) 紹介に対する未回答率がわかりましたらお答えください。 VII-(3) %
- (4) 紹介患者の内訳は？
- 1 一般歯科治療（有病者歯科および埋伏歯以外の抜歯も含む） VII-(4)-1 名
 - 2 埋伏歯 VII-(4)-2 名
 - 3 口腔外科的疾患 VII-(4)-3 名
- (5) 紹介患者で入院した患者数は？ VII-(5) 名
- (6) その内訳は
- 1 一般歯科治療（有病者歯科および埋伏歯以外の抜歯も含む） VII-(6)-1 名
 - 2 埋伏歯 VII-(6)-2 名
 - 3 口腔外科的疾患 VII-(6)-3 名

(7) 地区歯科医師会別に歯科への紹介患者数をご記入ください。

(記入欄が足りない場合は別添してください。1名の地区でも記入してください)

	地区歯科医師会名	紹介患者数
VII-(7)-1		<input type="text"/> 名
VII-(7)-2		<input type="text"/> 名
VII-(7)-3		<input type="text"/> 名
VII-(7)-4		<input type="text"/> 名
VII-(7)-5		<input type="text"/> 名

Ⅷ 在宅歯科医療について

(1) 在宅歯科医療を行っていますか。

a はい

b いいえ

VIII-(1)

aの場合、以下の設問にお答えください。

(2) 年間患者数はどのくらいですか。

VIII-(2) 名

(3) 年間延べ診察回数はどのくらいですか。

VIII-(3) 回

bの場合、以下の設問にお答えください。

(4) 在宅歯科医療の後方支援をおこなっていますか。

1 行っていない。

2 在宅で対応できない患者の入院治療を行っている。

3 その他 ()

VIII-(4)

IX かかりつけ歯科医についておたずねします。

(1) かかりつけ歯科医の機能として重要なものを次の項目から選んでください。(重要な順で1位～5位まで)

- 1 交通の便がよい、駐車場があるなど通院しやすい条件が整っている。
- 2 保険診療を原則とし、私費の場合も料金は事前に明確にする。
- 3 時間や回数がかかりすぎないように配慮する。
- 4 緊急の時は夜間や休日でも対応する。
- 5 衛生的・快適に治療が受けられるよう診療室を整えている。
- 6 遅い時間まで受付している。
- 7 予防処置や保護指導を積極的に行う。
- 8 患者または家族からの求めに応じて訪問歯科診療を行う。
- 9 病気や障害のある患者にも対応できる。
- 10 子供から高齢者まで家族全員に対応できる。
- 11 患者の訴えや希望を良く聞く。
- 12 歯科疾患や義歯等の相談にも電話を含めて懇切丁寧に対応する。
- 13 処置、指導、薬剤等の内容を患者が納得するまで説明する。
- 14 定期的な健診や継続的な指導管理を行う。
- 15 患者さんが重篤な病気や障害になっても、継続して対応していく。
- 16 病歴(カルテ)を長期間保存し、いつでも活用できるようにする。
- 17 専門分野を明確に持ち、常に研鑽を努める。
- 18 高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関がある。
- 19 地域の保健医療サービスを熟知し、連携・調整している。

IX-(1)

1位
2位
3位
4位
5位

(2) かかりつけ歯科医に対して病院が備えるべき機能は？(複数回答可)

- 1 口腔外科外来小手術(抜歯を含む)
- 2 緊急処置(誤飲・誤嚥)
- 3 感染症患者の歯科治療
- 4 障害者歯科
- 5 入院麻酔下での心身障害者・非協力的な小児の歯科治療
- 6 歯科用インプラント
- 7 顎関節症
- 8 口腔外科的疾患患者(顎顔面外傷、重度の口腔炎症、唾液腺疾患、口腔領域の腫瘍および嚢胞性疾患等)
- 9 全身疾患を有し医科との連携が必要な患者(循環器、呼吸器、内分泌、アレルギー体質などを有する患者における侵襲を伴う歯科治療)
- 10 在宅寝たきり老人および心身障害者の全身管理を要する者の支援
- 11 口腔疾患に起因する言語障害患者、特に口唇口蓋裂患者の治療
- 12 顎関節疾患のMRI、インプラントの術前のCT、等の検査
- 13 口腔外科、全身管理、救急処置等の生涯教育
- 14 歯科医師の研修制度
- 15 その他()

IX-(2)

--

調査票B 統計結果

I 概要

	回答数	最小	最大	平均	標準偏差
(2) 歯科医師数					
1 常勤	55	0.00	188.00	7.05	25.75
2 非常勤	52	0.00	112.00	3.21	15.50
(3) その他スタッフ数					
1 歯科衛生士	54	0.00	35.00	2.52	4.67
2 歯科技工士	48	0.00	13.00	1.00	1.94
3 看護婦	50	0.00	35.00	2.10	5.50
4 その他	39	0.00	61.00	2.44	9.54
(4) ユニット数	57	1.00	177.00	7.00	22.82
(7) モニター数					
1 連続血圧測定器	44	0.00	3.00	0.86	0.69
2 パルス計測器	42	0.00	4.00	0.79	0.71
3 心電図モニター	46	0.00	2.00	0.80	0.54
4 その他	24	0.00	1.00	0.13	0.33
(8) ポータブル機器					
1 ポータブルユニット	41	0.00	1.00	0.32	0.47
2 その他	29	0.00	2.00	0.28	0.52

II 診療実績

(1) 初診患者数	56	50.00	6557.00	553.04	1277.52
(2) 経路別内訳					
1 歯科からの紹介	37	0.00	2603.00	381.05	490.95
2 医科からの紹介	35	0.00	803.00	74.77	136.78
3 院内依頼	35	0.00	803.00	224.43	209.36
4 職員	30	0.00	570.00	70.53	108.52
5 紹介なし	32	0.00	2722.00	698.66	620.10
(3) 延べ外来患者数	49	5.00	28384.00	8313.20	6803.60
(4) 初診患者の内訳					
1 一般歯科治療	32	50.00	1901.00	443.69	353.04
2 埋伏歯	28	0.00	874.00	202.46	225.14
3 口腔外科的疾患	27	0.00	969.00	214.04	265.92
(5) 1か月の外来件数	52	11.00	945.00	373.06	257.22
(6) 内容別比率					
1 初診料	41	3.74	28.00	8.92	4.36
2 再診・指導料	42	7.00	80.00	16.61	13.24
3 投薬・注射	42	0.00	35.00	9.23	8.31
4 X線・検査	42	0.10	46.00	15.77	10.44
5 保存・根管処置	37	0.00	68.90	12.35	16.21
6 歯周処置	37	0.00	68.90	11.47	16.55
7 拔牙	39	0.00	68.90	11.45	14.64
8 その他の処置	36	0.00	68.90	9.57	15.48
9 麻酔	36	0.00	68.90	7.17	16.21
10 充填・歯冠修復	39	0.00	68.90	22.10	15.82
11 欠損補綴	37	0.00	68.90	20.05	16.84
12 その他	33	0.00	68.90	12.38	16.26
(7) 年間入院患者数	46	0.00	938.00	129.37	157.64
(8) 延べ入院患者数	39	0.00	1123.00	274.51	294.63
(9) 疾患分類別患者数					
1 一般歯科治療	30	0.00	25.00	5.07	5.98
2 埋伏歯拔牙	30	0.00	144.00	38.07	41.70
3 口腔外科的疾患	31	0.00	295.00	82.81	73.29
(10) 平均在院日数	31	0.00	1238.00	55.23	218.19
(11) 中央手術件数					
1 全麻症例件数	37	0.00	109.00	35.24	31.68
2 局麻症例件数	38	0.00	288.00	53.66	63.35
(12) 1か月の入院件数	42	0.00	330.00	22.90	50.93
(13) 外来/入院点数比率					
1 外来分	41	0.00	100.00	60.26	28.10
2 入院分	39	0.00	80.00	34.09	23.65
(14) 初診患者数					
1 平成7年	44	0.00	7371.00	1488.39	1444.02
2 平成8年	47	0.00	7683.00	1564.64	1476.99

(15) 紹介患者数					
1 平成7年	41	0.00	2197.00	321.10	453.85
2 平成8年	44	0.00	2815.00	364.25	533.83
過去3年の入院症例数					
1 悪性腫瘍	40	0.00	131.00	18.55	27.35
2 顎顔面骨骨折	40	0.00	88.00	25.65	26.86
3 顎変形症	40	0.00	40.00	5.68	9.41
4 抜歯	37	0.00	320.00	75.14	88.27
Ⅲ 歯科の救急体制					
(5) 年間救急患者数	14	0.00	171.00	40.86	45.03
(6) 内容別内訳	14	1.00	100.00	16.79	25.91
1 外傷	14	0.00	42.00	13.43	13.47
2 歯痛(歯牙疾患)	14	1.00	33.00	6.29	8.69
3 炎症	11	0.00	2.00	0.27	0.62
4 抜歯後出血	9	0.00	37.00	11.33	11.06
5 誤飲・誤嚥	22	0.00	43.00	11.05	12.51
6 その他	21	0.00	57.00	12.38	15.00
(7) 年間救急車搬送数	21	0.00	43.00	11.43	12.68
(8) 年間緊急入院患者数	21	0.00	57.00	12.38	15.00
Ⅳ 研修体制					
(3) 10年度研修歯科医師数	11	0.00	44.00	6.18	12.33
Ⅵ 歯科の登録医制					
(3) 登録歯科医数	6	30.00	167.00	61.67	47.50
Ⅶ 紹介患者の動向					
(1) 紹介患者数	35	0.00	779.00	229.34	221.17
(2) 紹介率	31	0.00	54.00	21.91	13.98
(3) 紹介に対する未回答率	15	0.00	20.00	2.77	6.01
(4) 紹介患者の内訳					
1 一般歯科治療	27	0.00	603.00	67.67	116.63
2 埋伏歯	26	0.00	641.00	150.54	168.56
3 口腔外科的疾患	27	0.00	732.00	139.33	163.73
(5) 紹介患者の入院数	27	0.00	200.00	60.00	57.04
(6) その内訳					
1 一般歯科治療	19	0.00	10.00	3.05	3.10
2 埋伏歯	19	0.00	170.00	33.37	41.82
3 口腔外科的疾患	20	0.00	138.00	35.85	36.18
Ⅷ 在宅歯科医療					
(2) 年間患者数	1	1.00	1.00	1.00	0.00
(3) 年間延べ診察回数	1	5.00	5.00	5.00	0.00

医療機関区分

愛知学院大 歯学部	名大・市大 医科・藤田	上記以外の 病院歯科	回答なし	合 計
1 1.7	4 6.8	53 89.8	1 1.7	59 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=88.1724$ 0.5%水準で有意

1-1 標榜科名

歯 科	歯科口腔 外科	小児歯科	矯正歯科	回答なし	回答者数
43 72.9	34 57.6	5 8.5	2 3.4	0 -	59 100.0

※ 1-1は4個までの複数回答
※ 複数回答の設問のため検定不能

1-5 外来手術室はあるか

全科が使用 可能	歯科専用	な い	回答なし	合 計
11 18.6	3 5.1	45 76.3	0 -	59 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=50.5763$ 0.5%水準で有意

1-6 病棟における歯科処置室はあるか

歯科専用	他科と共有	な い	回答なし	合 計
7 11.9	10 16.9	42 71.2	0 -	59 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=38.2712$ 0.5%水準で有意

1-9 診療内容

口腔外科 中心	一般歯科治 療中心	中間型	回答なし	合 計
14 23.7	23 39.0	22 37.3	0 -	59 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=2.4746$ N. S.

1-10 基本診療科の病院歯科加算は

算定でき ない	病院歯科I で算定	病院歯科II で算定	回答なし	合 計
37 62.7	11 18.6	9 15.3	2 3.4	59 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=25.6842$ 0.5%水準で有意

I-19 部長(または科長)の所属学会は

口腔病理学会	歯科保存学会	歯科補綴学会	口腔外科学会	矯正歯科学会	歯科放射線学会	小児歯科学会	歯周病学会	歯科麻酔学会	口腔科学会	その他
0	3	4	42	1	1	2	2	13	29	18
—	5.1	6.8	71.2	1.7	1.7	3.4	3.4	22.0	49.2	30.5

回答なし	回答者数
10	59
16.9	100.0

※ I-19は11個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

I-11 感染症患者の治療を行っているか

AIDSも含め 行っている	AIDSも除き 行っている	受け入れて ない	回答なし	合計
23	27	8	1	59
39.0	45.7	13.6	1.7	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=10.3793$ 1.0%水準で有意

I-12 AIDS拠点病院であるか

AIDS拠点病 院である	AIDS拠点病 院でない	回答なし	合計
15	44	0	59
25.4	74.6	—	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=14.2542$ 0.5%水準で有意

I-13 感染予防加算は算定できるか

算定できる	算定でき ない	回答なし	合計
17	37	5	59
28.8	62.7	8.5	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=7.4074$ 1.0%水準で有意

I-14 感染予防加算をどのように受け止めているか

感染予防対 策に当てる	感染症患者 治療積極的	その他	回答なし	回答者数
35	11	9	14	59
59.3	18.6	15.3	23.7	100.0

※ I-14は3個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

I-15 育成医療機関の指定を受けているか

受けている	指定を受ける 様準備中	今後も受け る予定なし	回答なし	合 計
17	6	28	8	59
28.8	10.2	47.4	13.6	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=14.2353$ 0.5%水準で有意

I-16 大学の関連病院であるか

大学からロ テートで赴任	人の交流は ない	関連病院で はない	回答なし	合 計
38	7	11	3	59
64.4	11.9	18.6	5.1	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=30.4643$ 0.5%水準で有意

I-17 部長(または科長)は学会の指導医であるか

口腔病理	歯科保存	歯科補綴	口腔外科	矯正歯科	歯科放射線	小児歯科	歯周病	歯科麻酔	その他	回答なし
0	1	1	20	1	1	1	1	1	4	35
—	1.7	1.7	33.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	6.8	59.3

回答者数
59
100.0

※ I-17は10個までの複数回答
※ 複数回答の設問のため検定不能

I-18 部長(または科長)は学会の認定医であるか

口腔病理	歯科保存	歯科補綴	口腔外科	矯正歯科	歯科放射線	小児歯科	歯周病	歯科麻酔	その他	回答なし
0	1	3	31	1	1	2	1	1	3	22
—	1.7	5.1	52.5	1.7	1.7	3.4	1.7	1.7	5.1	37.3

回答者数
59
100.0

※ I-18は10個までの複数回答
※ 複数回答の設問のため検定不能

I-20 学会の研修指定機関であるか

口腔病理 学会	歯科保存 学会	歯科補綴 学会	口腔外科 学会	矯正歯科 学会	歯科放射線 学会	小児歯科 学会	歯周病学会	歯科麻酔 学会	口腔科学会	その他
0	1	1	17	1	1	1	1	1	0	4
—	1.7	1.7	28.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	—	6.8

I-20 学会の研修指定機関であるか

回答なし	回答者数
38	59
64.4	100.0

※ I-20は11個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

I-21 歯科医師会には入会しているか

地区歯科医師会に入会	都道府県医師会に入会	日本歯科医師会に入会	入会していない	回答なし	回答者数
36	8	5	19	1	59
61.0	13.6	8.5	32.2	1.7	100.0

※ I-21は4個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

II-20 病院側が示す損益分岐点を上回っているか

上回っている	下回っている	知らない	回答なし	合計
8	17	28	6	59
13.6	28.8	47.4	10.2	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=11.3585$ 0.5%水準で有意

III-1 病院歯科が受け入れるべき救急処置

夜間等の歯科医療処置	歯科診療所での偶発症	誤飲・誤嚥	抜歯後出血	蜂窩織炎などの炎症	外傷	その他	回答なし	回答者数
7	39	32	40	44	45	10	10	59
11.9	66.1	54.2	67.8	74.6	76.3	16.9	16.9	100.0

※ III-1は7個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

III-2 救急患者を受け入れられるか

はい	いいえ	回答なし	合計
31	27	1	59
52.5	45.8	1.7	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=0.2759$ N.S.

III-3 救急体制

ボクセル等での自宅待機	当直制	輪番制(他施設と)	その他	回答なし	合計
27	2	0	2	0	31
87.0	6.5	—	6.5	—	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=64.0968$ 0.5%水準で有意

III-4 受け入れ体制

24時間体制	平日夜間のみ	休日のみ	その他	回答なし	合計
26	2	0	2	1	31
83.8	6.5	—	6.5	3.2	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=61.2000$ 0.5%水準で有意

III-9 救急患者を受け入れていない理由

スタッフが足りないから	救急を行っていない	必要性を感じないから	救急はやりたくない	その他	回答なし	合計
7	11	0	0	6	3	27
25.9	40.8	—	—	22.2	11.1	100.0

※ $df=4$ $\chi^2=18.9167$ 0.5%水準で有意

IV-1 歯科の卒後研修指定病院であるか

はい	いいえ	回答なし	合計
13	46	0	59
22.0	78.0	—	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=18.4576$ 0.5%水準で有意

IV-2 卒後研修の方式

単独方式	複合方式の主たる施設	複合方式の従たる施設	回答なし	合計
7	2	4	0	13
53.8	15.4	30.8	—	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=2.9231$ N. S.

IV-4 研修歯科医の待遇

研修医と同じである	研修医より給与が少ない	無給である	その他	回答なし	合計
7	3	0	1	2	13
53.8	23.1	—	7.7	15.4	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=10.4545$ 2.5%水準で有意

IV-5 卒後研修指定病院ではない理由

条件を満たしていない	医科の研修病院でない	採算がとれないから	その他	回答なし	合計
18	3	7	13	5	46
39.1	6.5	15.2	28.3	10.9	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=12.7561$ 1.0%水準で有意

IV-6 将来受け入れる予定はあるか

平成10年度 ら受け入れ	あと2~3年 内受け入れ	受け入れる 予定はない	回答なし	合 計
0	13	28	5	46
—	28.3	60.8	10.9	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=28.7317$ 0.5%水準で有意

IV-7 受け入れる場合の方式

単独方式	複合方式の 主たる施設	複合方式の 従たる施設	回答なし	合 計
4	1	7	1	13
30.8	7.7	53.8	7.7	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=4.5000$ N. S.

IV-8 院外の歯科医師の生涯研修を行っているか

勉強会等 を行っている	見学を受け 入れている	診療行為も 含んでいる	行って いない	回答なし	合 計
7	13	6	32	1	59
11.9	22.0	10.2	54.2	1.7	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=30.1379$ 0.5%水準で有意

IV-9 歯科で研修医(歯科医師ではなく)を受け入れているか

受け入れて いる	受け入れて いない	回答なし	合 計
6	51	2	59
10.2	86.4	3.4	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=35.5263$ 0.5%水準で有意

IV-10 衛生士学校、看護学校などで講義を担当しているか

担当して いる	担当してい ない	回答なし	合 計
27	29	3	59
45.8	49.1	5.1	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=0.0714$ N. S.

IV-11 衛生士学校、看護学校などの研修を受け入れているか

受け入れて いる	受け入れて いない	回答なし	合 計
30	26	3	59
50.8	44.1	5.1	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=0.2857$ N. S.

V-1 「病・診の機能分担が必要である」ということについてどう思うか

「連携」の前提で必要	実際には難しい	今のままでよい	必要とは思わない	回答なし	合計
30	17	6	3	3	59
50.8	28.8	10.2	5.1	5.1	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=32.1429$ 0.5%水準で有意

V-2 歯科の病診連携を行っているか

取り決めて行っている	実質的には行っている	行っていない	回答なし	合計
12	22	23	2	59
20.3	37.3	39.0	3.4	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=3.8947$ N. S.

V-4 病診連携の運営協議会(または準ずるもの)はあるか

ある	ない	回答なし	合計
7	5	0	12
58.3	41.7	—	100.0

※ $df=1$ $\chi^2=0.3333$ N. S.

V-5 病診連携専用の紹介状はあるか

歯科専用のものを配布	病院の紹介状を配布	特にない	回答なし	合計
6	4	2	0	12
50.0	33.3	16.7	—	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=2.0000$ N. S.

V-6 病診連携を行っていない理由

地区で取り決めがない	必要性を感じない	わからない	その他	回答なし	合計
21	5	11	6	2	45
46.8	11.1	24.4	13.3	4.4	100.0

※ $df=3$ $\chi^2=14.9535$ 0.5%水準で有意

V-7 病診連携をはじめる予定はあるか

平成11年度から予定	あと2~3年に行う予定	予定はない	回答なし	合計
4	7	28	6	45
8.9	15.6	62.2	13.3	100.0

※ $df=2$ $\chi^2=26.3077$ 0.5%水準で有意

VI-1 歯科の病診連携は登録制をとっているか

はい	いいえ	回答なし	合計
6 50.0	5 41.7	1 8.3	12 100.0

※ $df=1$ $\chi^2=0.0909$ *N.S.*

VI-2 登録した歯科医師の名称

登録歯科医	連携歯科医	その他	回答なし	合計
5 83.3	1 16.7	0 -	0 -	6 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=7.0000$ 5.0%水準で有意

VII-1 在宅歯科医療を行っているか

はい	いいえ	回答なし	合計
3 5.1	54 91.5	2 3.4	59 100.0

※ $df=1$ $\chi^2=45.6316$ 0.5%水準で有意

VII-4 在宅歯科医療の後方支援を行っているか

行っていない	在宅患者の入院治療	その他	回答なし	合計
33 61.1	15 27.8	4 7.4	2 3.7	54 100.0

※ $df=2$ $\chi^2=24.7308$ 0.5%水準で有意

IX_1 かかりつけ歯科医の機能として重要なもの (1位)

通院しやすい条件	保険診療を原則	時間や回数 の配慮	緊急時の 対応	診察室を整 えている	遅い時間ま で受付	予防処置や 導を積極的	訪問歯科診 察を行う	障害等ある 患者に対応	家族全員に 対応	訴えや希望 を良く聞く
5 8.5	1 1.7	0 -	6 10.2	0 -	0 -	3 5.1	1 1.7	1 1.7	11 18.6	7 11.9

相談に懇切 丁寧に対応	納得するま で説明する	継続的な指 導管理	継続して対 応していく	病歴を長期 間保存	常に研鑽を 努める	紹介可能医 療機関あり	地域との連 携・調整	回答なし	合計
0 -	3 5.1	6 10.2	0 -	0 -	0 -	2 3.4	1 1.7	12 20.2	59 100.0

※ $df=18$ $\chi^2=71.4468$ 0.5%水準で有意

IX_1 かかりつけ歯科医の機能として重要なもの (2位)

通院しやすい条件	保険診療を原則	時間や回数の配慮	緊急時の対応	診察室を整えている	遅い時間まで受付	予防処置や導を積極的	訪問歯科診療を行う	障害等ある患者に対応	家族全員に対応	訴えや希望を良く聞く
1 1.7	3 5.1	0 -	5 8.5	0 -	1 1.7	3 5.1	2 3.4	1 1.7	7 11.9	3 5.1

相談に懇切丁寧に対応	納得するまで説明する	継続的な指導管理	継続して対応していく	病歴を長期間保存	常に研鑽を努める	紹介可能医療機関あり	地域との連携・調整	回答なし	合計
1 1.7	3 5.1	9 15.3	0 -	2 3.4	1 1.7	3 5.1	2 3.4	12 20.1	59 100.0

※ $df=18$ $\chi^2=40.7234$ 0.5%水準で有意

IX_1 かかりつけ歯科医の機能として重要なもの (3位)

通院しやすい条件	保険診療を原則	時間や回数の配慮	緊急時の対応	診察室を整えている	遅い時間まで受付	予防処置や導を積極的	訪問歯科診療を行う	障害等ある患者に対応	家族全員に対応	訴えや希望を良く聞く
4 6.8	0 -	1 1.7	4 6.8	1 1.7	2 3.4	4 6.8	2 3.4	2 3.4	3 5.1	4 6.8

相談に懇切丁寧に対応	納得するまで説明する	継続的な指導管理	継続して対応していく	病歴を長期間保存	常に研鑽を努める	紹介可能医療機関あり	地域との連携・調整	回答なし	合計
4 6.8	3 5.1	2 3.4	2 3.4	0 -	2 3.4	3 5.1	2 3.4	14 23.5	59 100.0

※ $df=18$ $\chi^2=12.8444$ N. S.

IX_1 かかりつけ歯科医の機能として重要なもの (4位)

通院しやすい条件	保険診療を原則	時間や回数の配慮	緊急時の対応	診察室を整えている	遅い時間まで受付	予防処置や導を積極的	訪問歯科診療を行う	障害等ある患者に対応	家族全員に対応	訴えや希望を良く聞く
1 1.7	1 1.7	1 1.7	5 8.5	1 1.7	0 -	5 8.5	4 6.8	2 3.4	6 10.2	2 3.4

相談に懇切丁寧に対応	納得するまで説明する	継続的な指導管理	継続して対応していく	病歴を長期間保存	常に研鑽を努める	紹介可能医療機関あり	地域との連携・調整	回答なし	合計
3 5.1	3 5.1	4 6.8	0 -	1 1.7	0 -	3 5.1	2 3.4	15 25.2	59 100.0

※ $df=18$ $\chi^2=25.9545$ N. S.

IX_1 かかりつけ歯科医の機能として重要なもの (5位)

通院しやすい条件	保険診療を原則	時間や回数の配慮	緊急時の対応	診察室を整えている	遅い時間まで受付	予防処置や導を積極的	訪問歯科診療を行う	障害等ある患者に対応	家族全員に対応	訴えや希望を良く聞く
7 11.9	1 1.7	0 -	3 5.1	1 1.7	1 1.7	2 3.4	4 6.8	1 1.7	3 5.1	0 -

相談に懇切丁寧に対応	納得するまで説明する	継続的な指導管理	継続して対応していく	病歴を長期間保存	常に研鑽を努める	紹介可能医療機関あり	地域との連携・調整	回答なし	合計
3 5.1	1 1.7	3 5.1	1 1.7	0 -	1 1.7	6 10.2	5 8.5	16 26.9	59 100.0

※ $df=18$ $\chi^2=33.4419$ 2.5%水準で有意

IX-2 かかりつけ歯科医に対して病院が備えるべき機能

口腔外科外 来小手術	緊急処置	感染症患者 の歯科治療	障害者歯科	小児の歯科 治療	歯科用イン プラント	顎関節症	口腔外科的 疾患患者	全身疾患を 有する患者	心身障害者 等の支援	口唇口蓋裂 患者の治療
40 67.8	35 59.3	20 33.9	20 33.9	22 37.3	15 25.4	25 42.4	42 71.2	43 72.9	23 39.0	22 37.3

顎関節疾患 MRI等検査	救急処置等 の生涯教育	歯科医師の 研修制度	その他	回答なし	回答者数
28 47.5	27 45.8	22 37.3	6 10.2	9 15.3	59 100.0

※ IX-2 は15個までの複数回答
 ※ 複数回答の設問のため検定不能

病院歯科の実態に関するアンケート調査

1. 調査票（A票．B票）
2. 集計表

調査票 A

この調査票は病院全体に関するものです。恐れ入りますが、病院事務等にて、ご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

- 回答記入方法 各頁右の回答欄にご記入下さい。「その他」の場合では（ ）内にもご記入ください。

- このアンケートに関するお問い合わせ先
〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-5-18
愛知県歯科医師会事務局 総務課 加藤公三
TEL:052-962-8020 FAX:052-951-5108

I 病院の概要についておたずねします。

(1) 貴院の開設者は次のどれですか。

I-(1)

- 国01 厚生省
- 国02 文部省
- 国03 労働福祉事業団
- 国04 その他
 - 05 都道府県
 - 06 市町村
 - 07 日赤
 - 08 済生会
 - 09 北海道社会事業会
 - 10 厚生連
 - 11 国民健康保険団体連合会
 - 12 全国社会保険協会連合会
 - 13 厚生年金事業振興団
 - 14 船員保険会
 - 15 健康保険組合及びその連合会
 - 16 共済組合及びその連合会
 - 17 国民健康保険組合
 - 18 公益法人
 - 19 医療法人
 - 20 学校法人
 - 21 会社
 - 22 その他の法人
 - 23 個人
 - 24 医育機関

(2) 許可病床数は？

- 1 精神病床
- 2 伝染病床
- 3 結核病床
- 4 その他の病床（一般病床）
- 5 合計
- 6 療養型病床群（再掲）

I-(2)-1 床
 I-(2)-2 床
 I-(2)-3 床
 I-(2)-4 床
 I-(2)-5 床
 I-(2)-6 床
 I-(3) 人

(3) 全職員数は？

(4) 医師数は？

- 1 常勤
- 2 非常勤（常勤換算）

I-(4)-1 人
 I-(4)-2 人

(5) 診療科名（標榜科目又は担当科目）は？

該当項目に○を記入して下さい。

- 01 内科
- 02 呼吸器科
- 03 消化器科（胃腸科）
- 04 循環器科
- 05 小児科
- 06 精神科
- 07 神経科
- 08 神経内科
- 09 心療内科
- 10 アレルギー科
- 11 リウマチ科
- 12 外科
- 13 整形外科

01
 02
 03
 04
 05
 06
 07
 08
 09
 10
 11
 12
 13